

Rep*i* MRの評価分析



調査概要

調査目的： MRの総合評価/改善ポイントの明確化
 調査方法： インターネット調査
 調査対象： 全国の臨床医

有効回答： 15,023s
 調査期間： 年2回（2月・8月）
 調査主体： 株式会社アンテリオ
 ファーマ・ソリューション事業部



MR総合評価ランキング

※Rep-iではMRの評価を「低」「普通」「高」「No.1」の4段階で評価。下記ランキングでは「高」+「No.1」の合算。
 ※下記結果は診療科問わず（絞込みも可）

2015年8月結果 2016年8月結果

1 第一三共	1 第一三共
2 武田	2 武田
3 MSD	3 MSD
4 アステラス	4 大塚
5 大塚	5 アステラス

▶ 特に大きな変動があったメーカー

※3つ以上の変動

イーライリリー	11位	→	8位
エーザイ	7位	→	13位
科研	27位	→	23位
興和創薬	24位	→	28位
サノフィ	23位	→	31位
鳥居薬品	39位	→	36位
アヅヴィ	43位	→	40位

大塚が消化器・循環器内科の評価を上げ、前年より総合評価の順位を一つ上げる

全国の臨床医が高く評価したMRは前年と変わらずトップが第一三共、2位が武田、3位がMSDであった。

上位5メーカーで順位変動があったのは大塚（5位→4位）とアステラス（4位→5位）であり、TOP5は前年と変わらない。

順位を一つ下げたアステラスは、主に呼吸器内科・整形外科で順位を下げていることが影響していると考えられる。

イーライリリーは14年から16年にかけてMRを増員し、一部診療科でのカバー率向上もあり、14年から14位→11位→8位と順位を毎年上げている。

一方でサノフィは前年からMR数が減少しており、今回8つ順位を下げていることから組織体制の見直しも順位変動に影響したと考えられる。

15年4月に味の素製薬との合併会社「EAファーマ」へ百数十人出向したエーザイはMR数が減少したこともあり、順位が6つ下がっている。

Rep*i* MRの評価分析

診療科別のMR総合評価ランキング

※下記結果は診療科問わず（絞込みも可）

大塚が消化器内科で2位を、GSKが呼吸器内科で2位を獲得

消化器内科からの評価において、大塚が前年6位から2位へと4つ順位を上げた。同様に、循環器内科の評価も前年8位から5位へと順位を上げたことから、抗潰瘍薬タケキャブの影響が高いと考えられる。

C型肝炎治療薬のハーボニーを2015年8月に発売したギリアドは、消化器内科において前年16位から11位へと順位を5つ上げた。消化器内科のカバー率が前年より増加していることから、総合評価も上昇したものと考えられる。

一方で、呼吸器内科ではGSKが前年4位から2位へと順位を2つ上げた。GSKは2015年にMRの評価体系を見直したことから、14年の3位から15年にかけて順位を1つ下げていたが、今回の結果から再び高評価を得たことが確認できた。

▶ 消化器内科

2015年8月結果	2016年8月結果	
1 武田	1 武田	
2 エーザイ	2 大塚	➔
3 第一三共	3 第一三共	
4 MSD	4 AZ	➔
5 AZ	5 エーザイ	➡
6 大塚	⋮	
⋮	11 ギリアド	➔
16 ギリアド		

▶ 呼吸器内科

2015年8月結果	2016年8月結果	
1 AZ	1 AZ	
2 アステラス	2 GSK	➔
3 NBI	3 NBI	
4 GSK	4 アステラス	➡
5 イーライリリー	5 イーライリリー	